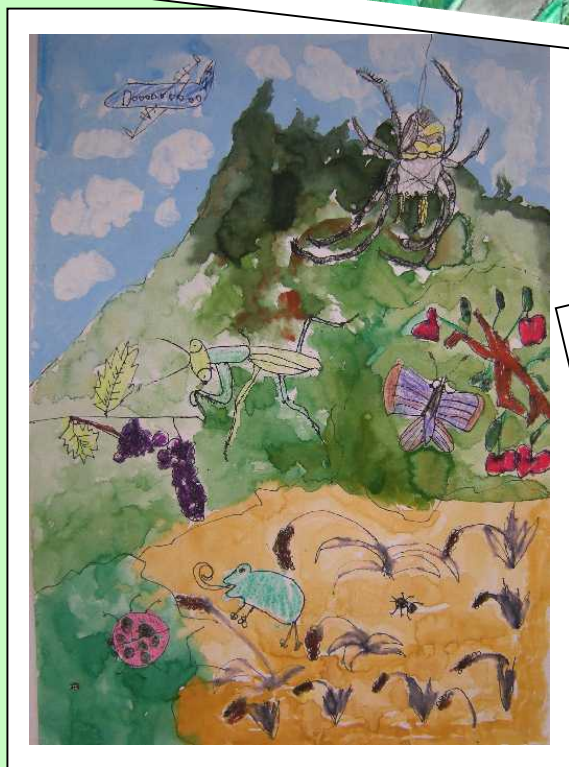


阿蘇草原キッズ・プロジェクト

草原環境学習

基本プログラム集



平成 26 年 6 月

阿蘇草原再生協議会 草原環境学習小委員会

はじめに

阿蘇地域には22000haとも言われる広大な草原が広がっています。この草原は、少なくとも平安時代の法律書「延喜式」^{えんぎしき}が編纂された千年以上前には既に存在していただろうと考えられています。また、地質学的な見地からは、1万年以上前から草原性の植生が広がっていた可能性についても指摘されています。

このような長い間、阿蘇地域で草原環境が維持されてきたのは、高原地帯であるが故の冷涼な気候と火山灰土壌といった特有の自然環境のなかで、阿蘇の人々が知恵をしばりながら草原を利用し、生活してきたことに深く関係しています。

その結果、草原は多様な植生を育み、そこにまた多くの生き物が生息する場所をつくりだしてきました。さらには、人々と自然との関わりのなかで阿蘇地域独特の貴重な文化も生まれてきました。また、美しい草原景観は、阿蘇を訪れる多くの人々の心を惹きつけ、現在では貴重な観光資源のひとつともなっています。

しかし、阿蘇の草原は時代の移り変わりや人々の暮らしの変容のなかで、その維持が難しくなり、草原の危機が叫ばれるようになりました。

私たちには、この貴重な財産を守り、後世に引き継いでいく義務があると思います。

今回、多くの方々のご協力によって草原環境に関する学習プログラムが完成しました。このプログラムを活用することで、多く子どもたちが草原への理解を深めるとともに、その価値を再認識し、草原維持のための大きな力となってくれることを期待しています。

阿蘇草原再生協議会

草原環境学習小委員会 委員長 池辺伸一郎

阿蘇草原キッズ・プロジェクト 草原環境学習 基本プログラム集 目次

はじめに

草原環境学習 基本プログラム集の発行について.....	1
草原環境学習の基本プログラムについて.....	2
(1) 阿蘇における草原環境学習の基本テーマと基本プログラム.....	2
(2) 基本プログラムの構成と使い方.....	3
(3) 草原環境学習 基本プログラム一覧表.....	4

<基本プログラム スタート編>

A(1) 阿蘇のカルデラと草原の成り立ちを学ぼう.....	A1-1~ 6
A(2) あか牛と草原について学ぼう.....	A2-1~ 7
A(3) 草原のススキを使って卒業証書を作ろう.....	A3-1~ 9
A(4) 草原のススキを使って人形を作ろう.....	A4-1~10
A(5) 野焼きについて学ぼう.....	A5-1~ 7
A(6) 草原の生きものについて学ぼう.....	A6-1~ 7
A(7) 草原が育んだ文化について学ぼう.....	A7-1~ 7
A(8) 「九州の水がめ、阿蘇」について学ぼう.....	A8-1~ 9

<基本プログラム 応用編>

B(1) 草原の危機について学ぼう.....	B1-1~ 7
B(2) 草原を守るためにできることに取り組もう.....	B2-1~ 6

【参考】各学校での草原環境学習の取り組みに向けて

■基本プログラム及び草原環境学習実施に関する問い合わせ窓口.....	S-1
■参考文献・資料.....	S-1
■施設紹介.....	S-1
■副教材の紹介.....	S-2
■ワークシートの例.....	S-4

草原環境学習 基本プログラム集の発行について

阿蘇草原再生協議会に設置された環境学習小委員会では、阿蘇地域の全ての子どもたちが、地域で守り継がれてきた草原について興味を持ち、理解を深めることを目的として、平成21年度から「阿蘇草原キッズ・プロジェクト」の取り組みを進めています。

プロジェクトの目標を、「阿蘇の子どもたち全員が草原について学ぶ機会を持てるよう、学校教育の中で草原について学べる仕組みづくり」とし、取り組み開始から平成25年度までの5年間は、モデル校指定によるモデルプログラムの実施やショートスクール(宿泊型体験学習)、個別の出前授業による草原環境学習の実践・検証を通して、教育現場に導入しやすい学習プログラムの開発と必要な副教材づくりなどを行い、あわせて、学習のサポート体制の構築を進めてきました。

本書は、その成果の1つとして発行するものであり、教育現場の先生方が、授業で草原環境学習を取り入れる際に参考としていただけるよう、基本的な学習プログラムのメニューを提案しています。阿蘇といっても地域によって状況が異なるため、プログラムの作成にあたっては、地域は限定せず汎用性のあるプログラムづくりを目指しました。これをもとに、地域の状況や指導される先生方の方針等にあわせてアレンジしながら活用していただくことを想定しています。

阿蘇草原キッズ・プロジェクトの取り組みは5年間が経過し、草原環境学習の輪も広がってきましたが、まだまだ目標達成には至っておらず、平成26年度からは「阿蘇草原キッズ・プロジェクトⅡ」として、草原環境学習の広がりや定着に向けて活動を進めてまいります。特に、各学校で草原学習を導入・実施される際のサポート体制の充実に力を入れていきます。

基本プログラムの活用や、草原学習実施に際してのご相談などは、草原環境学習小委員会ワーキング・グループにお問い合わせいただくことが可能です。

より多くの先生方に本書を活用していただき、草原環境学習が地域の学習として定着していくことを願っています。

★基本プログラム及び草原環境学習全般に関する問い合わせはこちらまで★
阿蘇草原再生協議会 草原環境学習小委員会 ワーキング・グループ事務局

住所：阿蘇市黒川1180（九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所内）

TEL：0967-34-0254

- ・草原環境学習に関すること全般のご相談に応じます。
- ・学習を導入する際のプログラム内容に関するご相談、講師やフィールドの紹介などコーディネーターが対応いたします。

草原環境学習の基本プログラムについて

(1) 阿蘇における草原環境学習の基本テーマと基本プログラム

- ・阿蘇草原キッズ・プロジェクトでは、阿蘇の草原について知ってもらうために欠かせない「学習の基本テーマ」と、「学習のねらい」を設定しています。

■学習の基本テーマ

- 阿蘇のカルデラと草原の成り立ち、その魅力
 - 私たちは、地形・地質や景観などの面から特異な、素晴らしい場所に住んでいる。
 - 長い間、人々が手を入れることにより維持されてきた草原は、その規模や生きものの多様さ、人と自然が共生してきた歴史などからみて、世界に誇るべきものである。
- くらしと草原：草原維持のしくみ
 - 採草・放牧・野焼きなど地域の人々により草原利用・維持管理が続けられてきたことにより、豊かな草原環境が守られてきた。
 - 草資源を大切に利用してきた歴史とともに豊かな草原文化が育まれるなど、草原は地域のくらしと深く関わってきた。
- 草原がもたらす恵み
 - 阿蘇の草原は、農畜産業の場、景観、九州の水がめ、草原特有の多様な生きもののおすみか、草原文化など様々な価値を有し、私たちは草原からの恵みを様々な形で受けている。
- 草原の現状と保全に向けた取り組み
 - 草原面積の減少や草原維持管理の担い手不足など、阿蘇の草原は危機的な状況にある。
 - 草原を守っていくために、多くの人々が様々な形で行動していくことが必要となっている。

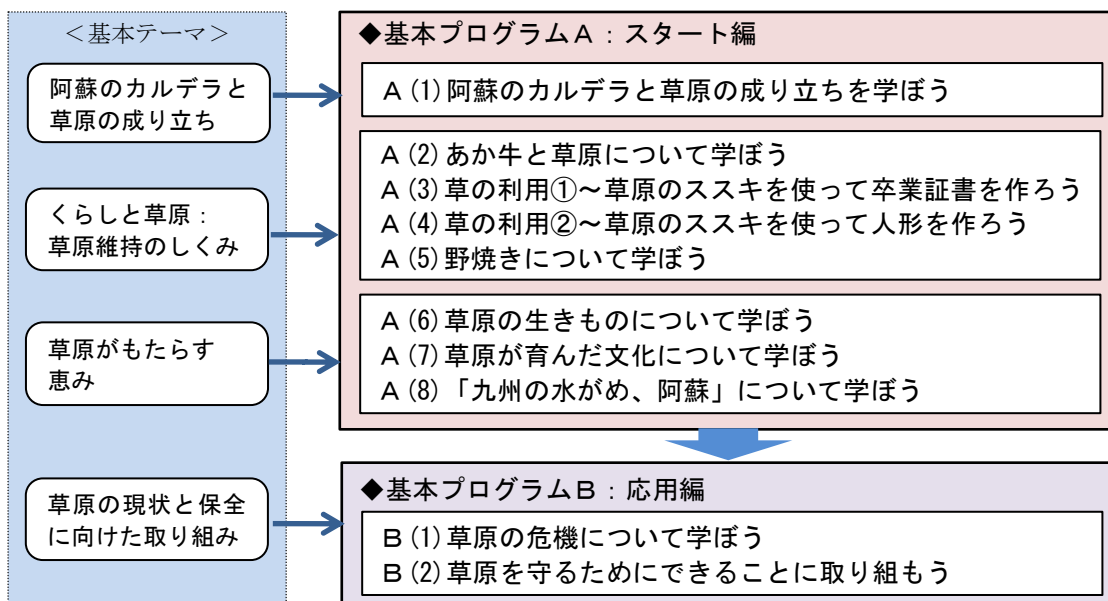
■学習のねらい

- ①阿蘇の草原に興味を持つ。
- ②身近にある草原を好きになる。
- ③草原維持のしくみと草原環境を知る。
- ④草原と自分たちのくらしや産業とのかかわりを知る。
- ⑤草原の危機を知る。
- ⑥草原を守るための取り組みを知る。
- ⑦草原を守るために自分たちにできることを考え、行動する。

自分たちが暮らす地域や阿蘇に誇りを持つ

- ・学習の基本テーマを踏まえて、阿蘇郡市内の小学校で取り組みやすい学習プログラムを「基本プログラム」として、10種作成しました。

■基本プログラム（10種の構成）



(2) 基本プログラムの構成と使い方

★基本プログラム 10 種のうち、「A」 8 種はスタート編、「B」 2 種は応用編です。

★プログラムAから1つ選んで学習をスタート

- * 初めて草原環境学習に取り組む場合、A (1)～A (8) の中からできそうなプログラムを自由に選んで実践しましょう。
- * さらにできる場合は他のプログラムも実践すれば、より効果があるでしょう。
- * プログラムAは、8 種全部やらなければならない、ということではありません。

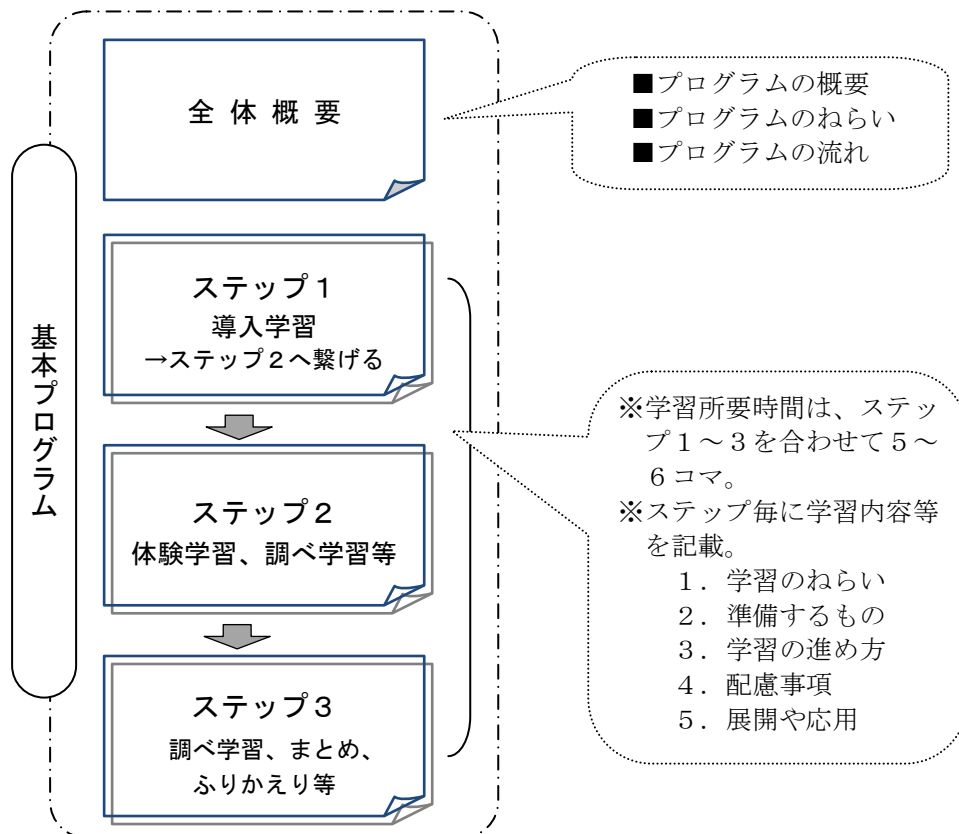
★草原の恵みについて理解した上でプログラムB（応用編）へ

- * プログラムBの2種は、草原の恵みなどある程度阿蘇の草原について理解した上で実践しましょう。

★各プログラムは、

全体概要、ステップ1（導入学習）、ステップ2～3（展開～ふりかえり）で構成。
合計5～6時間（コマ）程度で実施できます。

■各プログラムの構成～すべての基本プログラム共通～



(3) 草原環境学習 基本プログラム一覧表 ※A：スタート編、B：応用編

ステップ	活動	場所	コマ数	概要
A(1) 阿蘇のカルデラと草原の成り立ちを学ぼう				
ステップ1 (導入学習)	阿蘇のカルデラと草原の成り立ちを学ぼう	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・阿蘇と草原の成り立ちを中心に導入。
ステップ2 (体験学習)	阿蘇の地形や草原を見てみよう	野外	3	・火口、草千里などジオサイトを実際に見ながら専門家の話を聞く。 ・草原体験、草原の生き物観察。
ステップ3 (調べ学習)	調べてまとめよう	教室内	2	・実際に火口や草原を見て興味を持ったことについて調べ、体験や調べ学習でわかったこと、感じたことをまとめて発表する。
A(2) あか牛と草原について学ぼう				
ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・草原とあか牛放牧について学習し、その後のプログラムに繋げる。
ステップ2 (体験学習)	あか牛とのふれあい	校外	3	・地元牧野の協力を得て、草原やあか牛とのふれあい体験を行う。 ・組合の方の話を聞き、クイズも交えながら放牧利用・管理や放牧地の動植物などについて学ぶ。
ステップ3	学んだことをまとめよう	教室内	1	・導入～体験学習で気づいたことや感想をまとめ、発表する。
A(3) 草原のススキを使って卒業証書を作ろう				
ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・草の利用について学習し、その後のプログラムに繋げる。
ステップ2 (体験学習)	草原の草を刈ろう！	野外	3	・地元の草原に出かけ、紙の原料になるススキを刈る。 ・あわせて草原や草原の草の利用について、地元の牧野の方のお話を聞く。
ステップ3 (実習)	卒業証書の紙を漉こう	教室内	2	・草原で刈った草を原料として卒業証書の紙を漉く。 ・紙を漉くことが草原保全にも繋がっていることを学ぶ。
A(4) 草原のススキを使って人形を作ろう				
ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・草の利用について学習し、その後のプログラムに繋げる。
ステップ2 (体験学習)	草原のススキを採りに行こう！	野外	3	・地元の草原に出かけ、人形を作る材料となるススキを採集する。 ・あわせて草原や草原の草の利用について、地元の牧野の方のお話を聞く。
ステップ3 (実習)	ススキのフクロウづくり	教室内	2	・草原で刈ったススキを材料として使ってフクロウの人形づくりに取り組む。 ・草原の草を利用することが草原保全につながっていることを学ぶ。
A(5) 野焼きについて学ぼう				
ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・野焼き学習に関する導入。
ステップ2 (見学)	野焼き後の草原を見てみよう	野外	3	・野焼き後の現地を見ながら、野焼きや輪地切り作業の必要性や大変さ、維持管理の継続によって草原環境が守られていることを学ぶ。
ステップ3 (事後学習)	学んだことをまとめよう	教室内	1	・野焼きをした場所を見学して気付いたことや感想をまとめ、発表する。

ステップ	活動	場所	コマ数	概要
------	----	----	-----	----

A(6) 草原の生きものについて学ぼう

ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・草原の生き物に関する導入。
ステップ2 (体験学習)	草原の生きもの調べ	野外	3	・地域内の草原へ出かけ、草原に親しみながら、動植物の観察や調査などを行う。
ステップ3	学んだことをまとめよう	教室内	1	・草原体験の感想や調査した結果をまとめて発表する。

A(7) 草原が育んだ文化について学ぼう

ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・草の利用と草原文化に関する導入。
ステップ2 (体験学習)	草小積みを作ろう	野外	3	・身近にある草原を訪ね、地元の人のお話を聞きながら草小積みづくりを手伝う。草の利用とともに育まれた文化について学ぶ。
ステップ3	ふりかえりとまとめ	教室内	1	・体験から学んだことや感想をまとめ、発表する。

A(8) 「九州の水がめ、阿蘇」について学ぼう

ステップ1 (導入学習)	阿蘇のくらしと豊かな草原	教室内	1	・阿蘇の草原について全般的に学ぶ。 ・阿蘇に降る沢山の雨はどこへ行くのか、水循環について基本的なことを学ぶ。
ステップ2 (実験)	しみ込む水について考えよう(展開1)	教室内	2	・水の浸透実験を行い、土壌の性質によって浸透できる水の量や速度などが違うこと、濾過によってきれいな水ができることを体験的に学ぶ。
ステップ3 (調べ学習)	水によるつながりを知ろう(展開2・まとめ)	教室内	2	・阿蘇を源とする一級河川や身近に流れる河川について、その流域や分水界を地図上で調べ、水がもたらす恵みや、自分たちのくらしと下流域とのつながりについて学ぶ。

ステップ	活動	場所	コマ数	概要
------	----	----	-----	----

B(1) 草原の危機について学ぼう

ステップ1 (導入学習)	草原が減っている！	教室内	1	・時代の流れとともに、草原が減少していった経緯を知る。 ・なぜ草原が減っていったのかについて考える。
ステップ2 (発展学習)	草原を守る活動とは？	教室内	1	・草原が減っている原因を明らかにし、どうすればよいのか考える。 ・草原を守る取り組みについて紹介。
ステップ3 (調べ学習)	取り組みについてお話を聞こう	教室内	3	・草原を守る活動をしている方にお話を聞く。 ・うかがったお話をまとめる。

B(2) 草原を守るためにできることに取り組もう

ステップ1 (導入学習)	草原の危機と守る取り組み	教室内	2	・草原の危機と草原を守る活動について紹介。 ・草原を守るために自らできることについて考える。
ステップ2 (調べ学習)	草原保全活動の計画を作ろう	教室内	1	・個人で考えた草原を守るアイデアを発表し、クラスとして取り組む内容を決める。具体的な計画を立てる。
ステップ3 (体験学習)	草原を守るために活動しよう！	野外か 屋内	3	・実際に活動を行う。 ・実施したことについて感想などをまとめる。